

中村じゅんや 議員だより

連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉https://www.jn-susono-web.com



「市民の意見で、市議会を動かす活動」 少しは耳に入るようになっていませんか？



議長を拝命して早1年2ヶ月。議員の顔を覚えてもらおうという建前で各市民団体の会合等にお邪魔し、活動の様子を拝見した後、意見を交換するといった活動を進めてきました。最近では、団体の皆さまの方からお声掛けくださる機会も多くなってきています。

意見交換で得た情報の内、方針転換を必要とするような項目は参加した議員団（委員会毎や地区毎）で、さらに当局を交えた勉強会を開催、必要に応じ他市町の視察に行くこともあります。そういった情報を整理した上で、議員間で討議や議論を繰り返し、政策提言につなげています。



各議員が想いを共有すると、予算や条例の審査でもその方向性が明確となり、執行上の軌道修正につながることも出てきています。

市民の意見が市政に反映される瞬間なのですが、なかなか実感がありませんよね？PRも必要となりますので、市議会でもまとめ上げた政策提言は、市長等に届ける機会を設けて、報道提供も心がけています。



言わないと見えない。ぜひ身近な議員に皆さんの想いをお伝え下さい。そして議会との意見交換につなげて、想いを実現させましょう！

議会からの政策提言のご紹介

■子ども家庭総合支援拠点「すこっぷ」への提言

令和5年11月7日

①調査・検討期間：令和5年5月～10月

②主な調査担当：厚生文教委員会

③主な目的：児童館の週末開館の実現。

子どもの成長や育児の様子から洞察力を高める支援員研修と機関連携の強化

市には子育て支援センター、放課後児童教室、南児童館、図書館、幼児施設、教育施設、医療施設など子どもと接する機会の多い場が存在しています。

新設した「すこっぷ」は、自ら選択し成長する「子育て」と家庭での「子育て」を支援する総合支援拠点。気軽に立ち寄り、何気ない相談ができ、自然と各機関が連携して子どもたちの成長を見守ります。現代は少子高齢社会で、あらゆる世代が多様な形態で働く時代。社会が変化しているのに、土日休みで相談は平日日中のみ、という変化のない相談体制では地域福祉の向上は進みません。

こういった運営体制について改善提言を行いました。



■不登校対策と教育支援センターの在り方を提言

令和5年12月15日

①調査・検討期間：令和5年1月～10月

②主な調査担当：厚生文教委員会

③主な目的：個別事由に合わせた教育機会の創出
不登校対策とふれあい教室の対象。
交流の場を活かした見守り体制構築。

学校に行く、教室に入る、他の人と話す、自宅から一歩出る、自分の部屋から出る、といったことに相当な勇気を要する子が増えている状況です。その子はなぜ、学校に行かないことを選択しているのか。不登校児童が増える傾向にある為、東西公民館を閉鎖し、ふれあい教室を拡大するとの突然発表。ここに通って来れる子は対象の1割程。確かに小1から中3までの子が同じ教室というのは狭すぎですが、公民館利用者を見放す提案は、壊れた天秤。狭義の施策ではなく、広義でみんなと連携する策こそ、多様な悩みを抱える子どもに必要と

される支援。事情を把握し、教育方法の幅を広げ、学びの機会を提供できる施策にこそ知恵を出そうという提言を行いました。

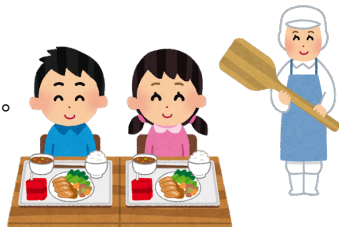


12月定例会から、補正予算審査をご紹介します。

■物価高騰に対して学校給食の仕入れ額を補助

家庭で感じていることは学校でも同じ。負担する給食費が変わっていないけど、子どもたちの給食は大丈夫？との心配。昨年度末学校給食費に国の予算を充て物価高騰に対応。今年も物価は約2%上昇し予算枠も不足するため、1食あたり8~9円補助し、給食仕入れ額を担保します。

国で、給食費無償化の議論がされているようですが早めに方向性が示されないと、必要な負担額の検討も進められません。早期方針決定を期待。



■部活動を地域主体で実施する体制構築のため、部活動コーディネーターを配置

教員の働き方改革の一つ、部活動を地域主体で実施するという動きは大詰めを迎えています。しかし、地域で指導を担える人材の不足、部員数の不足、合同練習の安全な移動手段未構築と、理想と現実の違い。市は受け皿となるNPO法人の設立を目指

■滝頭区新設グループホームは、来年5月完成予定。補助金への影響はなし。

認知症高齢者の施策の一つ、グループホーム。本人しか知り得ないモヤモヤした生活であっても、それを受け入れてくれる施設。モヤモヤでも良い！という自己肯定感を得ることができ穏やかに暮らすことができる。そういった施設を目指すのが、このグループホームです。市の計画に則って民間施設が創設されていますが、建築資材の供給遅れ等で、当初の2月中旬完成予定は5月に延びるそうです。年度を超えても、設置に関する補助金は影響なし。完成は延びますが、その間介護の質を高めて、ホッとする空間づくりを目指して頂きたいと思います。

し、準備専従者を配置して、準備を加速させることにしました（週3日、1日4時間程度勤務）学校が考え、部活動を地域に委ねるのではなく、地域団体側が放課後や週末を過ごす子どもたちを迎え入れ活動を活性化させると考えれば、チャンスであると思うのですが、皆さんはどう考えますか？他者のため自分にできることはないでしょうか。

各種活動のご紹介

●下土狩駅～三島駅北の自動運転バス実証実験

すそのーと同じ車体を12月2~4日自動運転で走らせる実証実験があり試乗。違和感なく普通！自動運転では何かしらの基準点（中央線など）が必要となりますが、この実験では誤差8cmだけというGPS技術が使用されていました。目覚ましい進歩です。



●御殿場、小山、裾野の行政懇談会に市民意見



2市1町行政懇談会は首長と議長、県議が参加。テーマに沿った意見交換と自由懇談を実施。子ども支援の研究成果発表後、私から地域での意見交換を元に、不登校対策のほか、御殿場線の稼働改善や踏切での渋滞解消、地域生涯活動と部活動交流などを提示し、広域での取り組みの必要性を確認しました

●待ちに待った「郷友会のとん汁」を提供

富岡コミセン祭でコロナ禍で断念していた名物を、ついに提供できました！やっぱり美味しい！



●「議長賞・・・」は悩みに悩みます（^^）

議長の仕事の中には「一つ選ぶ」という役割もあります。作品展が代表的。じっくり拝見しすぎて更に迷う事もしばしば。悩めますが楽しい時間です！



●私の靴は、4ヶ月で交換。健康維持ですかね



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。